

歯学部運動会を振り返って

5年生 谷 畠 里 誌



去る5月11日(土)、恒例の歯学部運動会が開催されました。運の悪いことに、前日から当日の朝にかけて激しい雨が降り、グラウンドの状態も悪くなっていました。一時は中止も考えたのですが、9時には雨も上がったのでやるだけやってみようということで、一時間遅れでスタートしました。

運動会の準備は、5年生が中心となって4月中旬から進めていきました。また、毎年恒例の立て看板は、各学年が早い時期から作業にとりかかり仕上げていました。このように準備してきた人たちの努力が報われるように、何とか運動会を中止にしたいという思いがありました。

幸い、例年に劣らないぐらいの学生が集まり、協議プログラムを1つずつ消化していきました。当初8種目を予定していましたが、グラウンドの状態を考えて、綱引き、ドッジボール、30人31脚、30人リレーの4種目を行いました。30人リレーで

はぬかるんだ足元のせいか、足の早い人と遅い人の差があまりつかず、最後まで白熱した戦いがくりひろげられました。他の競技でもみんな泥どろになりながら懸命に参加していました。結果は例年通り5年生が総合優勝する形で幕を閉じました。

最初はこんなひどいグラウンドで楽しい運動会が開催できるのか…という迷いもありましたが、けが人も出ず、また各学年が一致団結して競技に参加していたので、最終的にはやってよかったと思える運動会になりました。臨床実習で忙しい6年生や、五十嵐から通わなければならない1年生も多数参加してくれ、運動会を盛り上げてくれました。

最後になりましたが、悪天候の中会場に足を運んでいただいた野田先生、大島先生、朔先生にお礼申し上げます。また運動会にご協力いただいた各講座の先生方、寄付をいただいた団体様、そして準備を行ってくれた学生の皆さん、本当にありがとうございました。

